

「次世代ボランティア活動推進プログラム(案)」について

1 策定趣旨

ボランティア活動者の固定化、高齢化による後継者不足が常態化していることを踏まえ、災害への対応や三大国際スポーツ大会の運営支援など、ボランティアを取り巻く「新たな潮流」も視野に入れ、若者に向けたボランティア活動の裾野拡大と後継者の育成に繋げるための指針とする。

2 策定経過

第一線で活躍する若手NPO職員や学生ボランティア、中間支援センター職員等で構成された「プロジェクトチーム」による検討会を、平成31年1月から3月までの間、計3回実施。

3 プログラムの目的・方向性

若者の「自己実現」に向けた歩みを共助社会づくりの礎に！

- ⇒ ポイント① 若者が「共感」し、「持続的な活動」に繋がる仕組みづくり
- ⇒ ポイント② NPO・ボランティア活動の「継承・発展」に繋がる仕組みづくり
- ⇒ ポイント③ 活動支援に向けた「体制強化」

4 戦略プログラム

上記ポイントを踏まえ、若者のボランティア活動を推進するための具体的な方策を「戦略プログラム」として取りまとめ、体系化。

(1) 若者のボランティア活動の参画促進・裾野拡大

情報発信戦略

世代別活動推進戦略

(2) ボランティア活動の継承・発展

活動継承・発展戦略

(3) 活動支援に向けた体制強化

プログラム浸透戦略

支援体制の強化戦略

(4) 「新たな潮流」への対応

新たな潮流への対応戦略